

市内小中学校の児童生徒数の推移

(1) 児童生徒数の推移

本市の児童生徒数は、1984 年度(S59)の 7,247 人をピークに、年々減少している。2019 年度(R01)現在は、ピーク時の 53.1%にあたる 3,844 人となっている。総人口は 2000 年度(H12)に 58,066 人となった以降、徐々に減少している。

【市立小・中学校の児童生徒数の推移(経緯)】

児童生徒数のピークは 1984(S59)年	1984 (S59) 35 年前	1994 (H06) 25 年前	2004 (H16) 15 年前	2009 (H21) 10 年前	2014 (H26) 5 年前	2019 (R01) 現在
総 人 口	50,705	55,301	56,938	57,378	55,957	54,934
0～14 歳人口 人口比	11,094 21.8%	9,295 16.8%	8,051 14.1%	7,524 13.1%	6,790 12.1%	6,179 11.2%
児童数(小学校) 対 1984 比	4,921 —	4,029 ▲18.1%	3,399 ▲30.9%	3,154 ▲35.9%	2,790 ▲43.3%	2,507 ▲49.0%
生徒数(中学校) 対 1984 比	2,326 —	2,192 ▲5.7%	1,806 ▲22.3%	1,692 ▲27.2%	1,556 ▲33.1%	1,337 ▲42.5%
児童生徒数計 対 1984 比	7,247 —	6,221 ▲14.1%	5,205 ▲28.1%	4,846 ▲33.1%	4,346 ▲40.0%	3,844 ▲46.9%

(時点：各年度 5 月 1 日)

(2) 学校別の児童生徒数と学級数の推移

学校別の児童生徒数は、ほとんどの学校が 10 年前と比べ減少している。

法令上、学校規模の標準は、小・中学校ともに「12 学級以上 18 学級以下」とされているが、2019 年度(R01)現在では、通常学級数が標準を下回る学校は、小学校 5 校、中学校 1 校である。

10 年間の減少率が特に大きい学校(3 割以上減少)は、羽生北小学校 38.2%、三田ヶ谷小学校 36.2%、羽生南小学校 37.9%である。

全ての学年で単学級(クラス替えができない)の学校は、5 校であり、校数は 10 年前から増減していない。

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」（文部科学省 H27. 1. 27）によると、望ましい学級数は、小学校では、1 学年 2 学級以上、中学校では、学校全体で少なくとも 9 学級以上となっている。

【各小学校の児童数の推移(過去 10 年)】

学 校 名	平成 21 年度(A) 児童数(学級数)	平成 26 年度 児童数(学級数)	令和元年度(B) 児童数(学級数)	増減(B)-(A) 児童数(学級数)
羽生北小学校	570 (18+2)	475 (14+2)	352 (12+2)	▲218 (▲6)
新郷第一小学校	175 (6+1)	149 (6+1)	138 (6+1)	▲37 (±0)
新郷第二小学校	95 (6+0)	108 (6+2)	129 (6+2)	34 (±0)
須影小学校	343 (12+1)	309 (12+1)	313 (12+3)	▲30 (±0)
岩瀬小学校	269 (10+2)	260 (11+2)	338 (12+2)	69 (+2)
川俣小学校	154 (6+0)	137 (6+0)	108 (6+0)	▲46 (±0)
井泉小学校	368 (12+1)	389 (12+1)	333 (12+2)	▲35 (±0)
手子林小学校	446 (14+1)	379 (12+2)	323 (12+2)	▲123 (▲2)
三田ヶ谷小学校	135 (6+0)	116 (6+1)	86 (6+1)	▲51 (±0)
村君小学校	71 (6+1)	50 (4+1)	59 (5+1)	▲12 (▲1)
羽生南小学校	529 (17+1)	418 (13+2)	328 (12+3)	▲201 (▲5)
合 計	3, 154	2, 790	2, 507	▲647

【各中学校の生徒数の推移(過去 10 年)】

学 校 名	平成 21 年度(A) 生徒数(学級数)	平成 26 年度 生徒数(学級数)	令和元年度(B) 生徒数(学級数)	増減(B)-(A) 生徒数(学級数)
西中学校	553 (16+1)	505 (14+3)	406 (11+2)	▲147 (▲5)
南中学校	598 (16+1)	530 (15+2)	469 (13+3)	▲129 (▲3)
東中学校	541 (16+1)	521 (14+2)	462 (13+3)	▲79 (▲3)
合 計	1, 692	1, 556	1, 337	▲355

(時点：各年度 5 月 1 日)

※各年度の児童生徒数は、特別支援学級を含む。学級数は、(通常学級＋特別支援学級)を示す。
増減の学級数は通常学級の増減。

(3) 児童生徒数の将来推計

今後も人口減少及び少子化が進むと予想され、2025(R07)年度(住民基本台帳により未就学児の人数が把握できる)には全児童生徒数はピーク時1984(S59)年度の47.7%となることが予想される。さらに、2045(R07)年度(公表された資料により、当市の人口が推計されている)には、ピーク時の40.1%(人口V推計)/**34.8%(社人研推計)**となり、複式学級の生じる学校は4校となることが推測される。

【市内小・中学校の児童生徒数の推移(見込み)】

	2019 (R01) 現在	2020 (R02) 1年後	2025 (R07) 6年後	2030 (R12) 11年後	2035 (R17) 16年後	2040 (R22) 21年後	2045 (R27) 26年後
総人口	54,934	54,621 53,085	54,512 50,995	54,494 48,680	53,200 46,153	51,695 43,407	50,096 40,593
0～14歳人口 人口比	6,179 11.2%	5,736 10.5% 5,575 10.5%	5,334 9.7% 4,990 9.7%	5,178 9.5% 4,626 9.5%	4,906 9.2% 4,257 9.2%	4,719 9.1% 3,963 9.1%	4,505 8.9% 3,651 8.9%
児童数(小学校) 対2019比	2,507 —	2,437 ▲2.7%	2,241 ▲10.6%	2,173 ▲13.3% 2,077 ▲17.1%	2,057 ▲17.9% 1,911 ▲23.7%	1,976 ▲21.1% 1,779 ▲29.0%	1,885 ▲24.8% 1,638 ▲34.6%
生徒数(中学校) 対2019比	1,337 —	1,302 ▲2.6%	1,218 ▲8.9%	1,181 ▲11.6% 1,129 ▲15.5%	1,118 ▲16.3% 1,038 ▲22.3%	1,074 ▲19.6% 966 ▲27.7%	1,024 ▲23.4% 889 ▲33.5%
児童生徒数計 対2019比	3,844 —	3,739 ▲2.7%	3,459 ▲10.0%	3,354 ▲12.7% 3,206 ▲16.5%	3,175 ▲17.4% 2,949 ▲23.2%	3,050 ▲20.6% 2,745 ▲28.5%	2,909 ▲24.3% 2,527 ▲34.2%

(増減率) 0.970 0.947 0.961 0.954

(時点: 2019年度 5月1日)

(増減率) **0.927** **0.920** **0.931** **0.921**

※2020年以降の総人口は、上段:「羽生市人口ビジョン(H28.2)」における羽生市の目指すべき総人口、下段:国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H30推計)」で推計された羽生市の総人口。

※2020年以降の0～14歳人口は、上記の総人口に、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地

域別将来推計人口（H30 推計）」で推計された羽生市の総人口に対する 0～14 歳人口の割合を用いて算出。（人口ビジョンでは、0～14 歳人口が示されていないため）

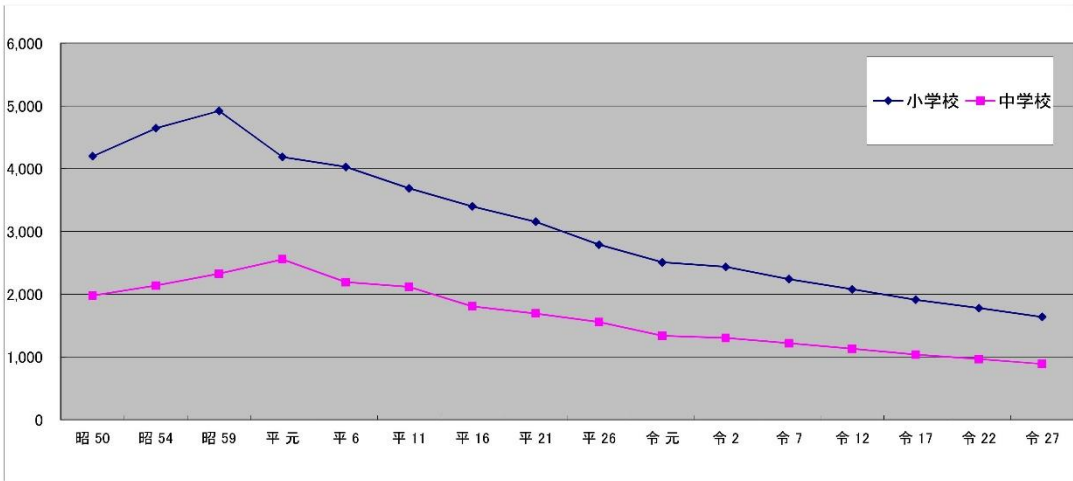
※児童生徒数の推計は、2025 年度までは住民基本台帳により現在の未就学児数をもとに、2030 年度以降は 0～14 歳人口の増減率により算出

市内小中学校児童生徒数の推移・推計

	1975	1979	1984	1989	1994	1999	2004	2009	2014	2019	2020	2025	2030	2035	2040	2045
	昭 50	昭 54	昭 59	平 元	平 6	平 11	平 16	平 21	平 26	令 元	令 2	令 7	令 12	令 17	令 22	令 27
羽生小	1,685															
羽生北小		981	917	682	654	643	565	570	475	352	336	344	319	294	274	252
新郷第一小	267	366	398	346	335	258	178	175	149	138	139	77	71	65	61	56
新郷第二小	105	143	131	77	85	89	91	95	108	129	124	79	73	67	62	57
須影小	379	375	410	318	306	355	325	343	309	313	308	310	287	264	246	227
岩瀬小	342	393	431	385	429	300	253	269	260	338	338	284	263	242	225	207
川俣小	250	294	277	257	292	269	241	154	137	108	93	142	132	122	113	104
井泉小	395	495	576	462	404	392	375	368	389	333	319	308	286	263	245	226
手子林小	366	374	425	454	405	452	494	446	379	323	323	307	285	262	244	225
三田ヶ谷小	237	244	268	266	215	145	142	134	116	86	77	59	54	50	47	43
村君小	173	176	173	176	146	109	109	71	50	59	57	27	25	23	21	19
羽生南小		805	915	764	758	676	626	529	418	328	323	304	282	259	241	222
小学校計	4,199	4,646	4,921	4,187	4,029	3,688	3,399	3,154	2,790	2,507	2,437	2,241	2,077	1,911	1,779	1,638
西中			878	908	788	778	656	553	505	406	398	351	325	299	278	256
南中			795	889	691	706	615	598	530	469	459	476	441	405	377	347
東中			653	759	713	631	535	541	521	462	445	391	363	334	311	286
羽生中	998	1,189														
新郷中	180	178														
須影中	180	187														
井泉中	175	176														
手子林中	210	194														
千代田中	233	212														
中学校計	1,976	2,136	2,326	2,556	2,192	2,115	1,806	1,692	1,556	1,337	1,302	1,218	1,129	1,038	966	889
合計	6,175	6,782	7,247	6,743	6,221	5,803	5,205	4,846	4,346	3,844	3,739	3,459	3,206	2,949	2,745	2,527

↑ R2、R7 住民基本台帳により未就学児数を基に算出

↑ R12以降は「日本の地域別将来推計人口」を基に算出



【各小学校の児童数の推移(見込み)】児童数右の()内は特別支援学級を除く学級数

学 校 名	2019 (R01) 現在	2020 (R02) 1 年後	2025 (R07) 6 年後	2030 (R12) 11 年後	2035 (R17) 16 年後	2040 (R22) 21 年後	2045 (R27) 26 年後
羽生北小学校	352(12)	336(12)	344(12)	333(12) 319(12)	315(12) 294(12)	302(12) 274(12)	288(12) 252(12)
新郷第一小学校	138(6)	139(6)	77(6)	74(6) 71(6)	70(6) 65(6)	67(6) 61(6)	63(6) 56(6)
新郷第二小学校	129(6)	124(6)	79(6)	76(6) 73(6)	71(6) 67(6)	68(6) 62(6)	64(6) 57(6)
須影小学校	313(12)	308(12)	310(12)	300(12) 287(12)	284(12) 264(12)	272(12) 246(12)	259(12) 227(12)
岩瀬小学校	338(12)	338(12)	284(12)	275(12) 263(12)	260(12) 242(12)	249(12) 225(6)	237(6) 207(6)
川俣小学校	108(6)	93(6)	142(6)	137(6) 132(6)	129(6) 122(6)	123(6) 113(6)	117(6) 104(6)
井泉小学校	333(12)	319(12)	308(12)	298(12) 286(12)	282(12) 263(12)	271(12) 245(12)	258(12) 226(6)
手子林小学校	323(12)	323(12)	307(12)	297(12) 285(12)	281(12) 262(12)	270(12) 244(12)	257(12) 225(6)
三田ヶ谷小学校	86(6)	77(6)	59(6)	57(6) 54(6)	53(6) 50(6)	50(6) 47(5)	47(5) 43(5)
村君小学校	59(5)	57(5)	27(3)	26(4) 25(4)	24(3) 23(3)	23(3) 21(3)	21(3) 19(3)
羽生南小学校	328(12)	323(12)	304(12)	294(12) 282(12)	278(12) 259(12)	267(12) 241(12)	254(12) 222(6)
合 計	2, 507	2, 437	2, 241	2, 167 2, 077	2, 047 1, 911	1, 962 1, 779	1, 865 1, 638

【各中学校の生徒数の推移(見込み)】生徒数右の()内は特別支援学級を除く学級数

学 校 名	2019 (R01) 現在	2020 (R02) 1 年後	2025 (R07) 6 年後	2030 (R12) 11 年後	2035 (R17) 16 年後	2040 (R22) 21 年後	2045 (R27) 26 年後
西中学校	406(11)	398(11)	351(10)	340(9) 325(9)	321(9) 299(9)	308(9) 278(9)	293(9) 256(9)
南中学校	469(13)	459(13)	476(13)	461(12) 441(12)	436(12) 405(12)	418(12) 377(12)	398(12) 347(9)
東中学校	462(13)	445(12)	391(12)	379(12) 363(12)	358(9) 334(9)	344(9) 311(9)	328(9) 286(9)
合 計	1,337	1,302	1,218	1,180 1,129	1,115 1,038	1,070 966	1,019 889

(増減率) 0.970 0.947 0.961 0.954

(時点：2019 年度 5 月 1 日)

(増減率) 0.927 0.920 0.931 0.921

※児童生徒数の推計は、2025 年度までは住民基本台帳により現在の未就学児数をもとに、2030 年度以降は、上段：「羽生市人口ビジョン(H28.2)」、下段：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H30 推計)」を用いて推計した 0～14 歳人口の増減率により算出

○学校の小規模化に伴う課題

小中学校の小規模化は、学校運営や教育活動に様々な影響を及ぼすとされています。具体的には児童生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導が行える反面、児童生徒数が少ないことによる学習や学校生活における影響が考えられます。

小規模校のメリット・デメリット

メリット	デメリット
・児童生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな指導が行いやすい ・児童生徒相互の人間関係が深まりやすい ・異学年間の縦の交流が生まれやすい ・全教職員の意思疎通が図りやすく、相互の連携が密になりやすい ・学校が一体となって活動しやすい ・施設、設備の利用時間等の調整がしやすい ・保護者や地域社会との連携がとりやすい	・集団の中で、多様な考えに触れる機会や学び合いの機会、切磋琢磨する機会が少ない ・組織的な体制が組みにくく、指導方法等に制約が生じやすい ・部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい ・人間関係や相互の評価が固定化しやすい ・教職員数が少ないため、経験、教科、特性等の面でバランスの取れた配置を行いにくい ・学年別や教科別の教員同士で、学習指導や生徒指導等について相談・研究・切磋琢磨等が行いにくい ・一人が複数の校務分掌を担当するため負担が大きくなる ・PTA活動等における保護者一人ひとりの負担が大きくなる